

日本トップのSnowflake活用実績を生かし

データ収集から分析まで データ活用を統合的に支援

ビジネスインテリジェンス事業をビジネスの柱とするインテージテクノスフィア。国内最大手のマーケティングリサーチ企業であるインテージグループの一員としてIT環境を支えるだけでなく、外部顧客のデータ活用を支援している。その中核にあるのが「データクラウド」を標榜するSnowflakeを採用した「データ活用プラットフォーム」だ。サイロ化したデータを統合し、ほかの企業や組織のデータとも連携させた戦略的なデータ活用を可能にする。



株式会社インテージテクノスフィア
取締役・CTO

秦 一雄氏

「豊富な経験でデータに魂を吹き込み 新しいビジネス価値を共創していきます」

競争優位確立のために データの活用は不可欠

桔梗原 インテージテクノスフィアは、インテージグループの一員としてグループのIT環境を支えると同時に、顧客に向けてビジネスインテリジェンス事業を展開しています。データは「21世紀の石油」と表現されるほど、重要な経営資源となっています。企業のデータ活用やDXの取り組みをどのように見えていますか。

秦 デジタル技術を活用して競争優位を確立する。激しいビジネス環境変化の時代にこそ、データの活用は必要不可欠です。データに基づいて迅速に意思決定を行い、変化に柔軟に対応して

いく「データドリブン経営」の重要性が高まっています。

桔梗原 しかし、データ活用がなかなか進まないという企業も多いようです。秦 データを収集したり、分析したりする技術は大きく進化しています。それによって、企業が手にすることができるデータの種類や量は大幅に増加しました。コロナ禍でDXが一気に加速したといわれていますが、DXやデータ活用が軌道に乗っていないという企業は、その膨大なデータを生かしきれていないのではないのでしょうか。

桔梗原 インテージテクノスフィアは、そのような企業をどう支援しているのですか。

秦 当社は、インテージグループの一

員として、長年のビジネスの中で高度なデータ活用ノウハウを蓄積しており、それを生かした支援を行っています。

その1つがデータを統合的に管理・分析できる「データ活用プラットフォーム」の提供です。現在、企業が扱うデータは種類も量も爆発的に増加しています。しかも、それらのデータがクラウドやオンプレミスの様々なシステムに分散し、サイロ化しています。例えば、大企業では事業部ごとに予算を執行し、個別最適化したシステムを作りがちです。当然、データは分散し、管理の方法や粒度などもばらばらで、このサイロ化がデータ活用を大きく妨げています。

サイロ化の課題を解消し、データの

統合的な管理と利用のための環境を提供するのが私たちのデータ活用プラットフォームです。様々なデータを収集して一元化し、その上で集計・分析・可視化など、必要なデータ処理機能までを統合的に提供します。つまり、データ選定・準備からデータ収集、加工、集計、分析活用のフェーズまで、データ活用に必要なプロセスを1つのプラットフォームとして提供するので。

そのキーテクノロジーとして採用しているのが、米スノーフレイク社が提供するデータクラウドの「Snowflake」です。

システムからデータを抜き出して利用者に渡す。システムやクラウド同士をつなぐ。定期的にデータをメンテナンスする。DWHを作成する。性能が劣化したシステムのチューニングを行う。これまでデータを活用するために、担当者は様々なことを手作業で行っていました。Snowflakeを使えば、これらのプロセスは大幅に簡便化になります。データ分析環境における、必要な基盤処理プロセスをワンストップで行えるのです。

インテージテクノスフィアは、スノーフレイクが日本で事業を開始する以前から、グループ企業インテージのリサーチシステムのコア基盤としてSnowflakeを利用しており、アジアパシフィック地域ではトップクラス、日本ではナンバーワンの利用実績を誇っています（2021年12月1日時点のSnowflake利用実績）。

この経験と知見を生かして、お客様のSnowflakeの導入を支援したり、「データ収集・統合を図りたい」「集計や分析、可視化を行いたい」「運用コストを抑えたい」といった様々なデータ活用ニーズに対応するのが当社のデータ活用プラットフォームです。当社は

データの戦略的な活用を支援するインテージテクノスフィアとSnowflake



サイロ化や安全な連携など、データ活用の課題を解決するSnowflake。Snowflakeに関する豊富な経験と知見を持ち、その活用を支援するインテージテクノスフィア。両社のタッグに寄せられる期待は大きい

Snowflakeサービスパートナーに認定されており、Snowflake認定資格保有エンジニアも多数在籍しています。桔梗原 Snowflakeの強みを具体的に教えてください。

秦 SnowflakeはAmazon AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platformといった主要なクラウド上で稼働するDWH製品です。まず大量データを高速で処理できます。高い処理性能、オートスケーリング、ニアゼロマネジメント、コスト面も優れています。当社の事例では、ほかのDWHの2～5倍のスループット（時間単位の処理能力）を発揮し、3割以上のコスト削減につながりました。

加えて、私たちがSnowflakeの大きな強みだと考えているのが、ほかの企業や組織とセキュアにデータを連携できる「データシェアリング」機能です。データは多様なデータを持ち寄ることで、より高い価値を引き出せるという側面があります。1つの企業が持っているデータだけでは見えなかったことも、複数の企業のデータを持ち寄って分析すれば見えてくる。データシェアリングは、データの価値を最大化できます。

桔梗原 秦さんは、Snowflakeのデータクラウドを利用して、自社のビジネスや周囲の世界に変革をもたらした個人や企業を表彰する「Data Drivers Awards」において「DATA EXECUTIVE OF THE YEAR」を受賞したそうですね。

秦 ありがとうございます。自社の活用の中でSnowflakeの活用ノウハウを蓄積し、お客様のデータ活用の課題解決をご支援してきました。この2つの取り組みが評価され、今回の受賞に至りました。

桔梗原 データ活用プラットフォームの代表的な事例を教えてください。

秦 某大手消費財メーカー様には、営業向けの「POSデータ統合/分析ソリューション」を提供しています。お客様が保有するチェーンPOSデータとインテージが保有するパネル調査のデータをSnowflakeで統合して分析。複数のダッシュボードを通じて、営業担当者向けの情報を提供します。システムは、セールスフォースのアプリケーションに組み込まれています。

また、会計データ、出荷データ、売上データなどの多種類のデータをSnowflakeに集約、BIツールによって分析、可視化した事例もあります。これらの事例をはじめ、様々な業界のお客様から幅広い相談をいただいています。

桔梗原 最後に今後の展望をお聞かせください。

秦 「データに魂を吹き込み、世の中を感動させる Intelligence, Integrity, Impression」が当社のビジョンです。お客様の課題を理解しながら、共に解決策を探し、テクノロジーを最大限に活用することで新しいビジネスの価値を共創。DXの伴走者としてお客様のビジネスに貢献していきます。

お問い合わせ



株式会社インテージテクノスフィア

URL : <https://www.intage-technosphere.co.jp/>
サービス関連 : 「データ活用プラットフォームソリューション」担当
E-mail : dx-info@intage.com
広報関連 : 経営企画部 広報担当
E-mail : pr-itsp@intage.com